

住宅改修が必要な理由書

<基本情報> (P 1)

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年 月 日	性別	□男 □女
	被保険者氏名		要介護認定 (該当に○)	要支援		要介護			
				1 2	経過的 1 2 3 4 5				
	住所					住宅所有者		有効期間	年 月 日 ~ 年 月 日

作成者	現地確認日		年 月 日	作成日	年 月 日
	所属事業所		印		
	資格	(作成者が介護支援専門員でないとき)			
	氏名		印		
	連絡先				

保険者	確認日	年 月 日	評価欄	
	氏名			

<総合的状況>

利用者の身体状況		福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定		
			改修前	改修後
介護状況		●車いす	□	□
		●特殊寝台	□	□
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか		●床ずれ防止用具	□	□
		●体位変換器	□	□
		●手すり	□	□
		●スロープ	□	□
		●歩行器	□	□
		●歩行補助つえ	□	□
		●認知症老人徘徊感知機器	□	□
		●移動用リフト	□	□
		●腰掛便座	□	□
		●特殊尿器	□	□
		●入浴補助用具	□	□
		●簡易浴槽	□	□
●その他				
・	□	□		
・	□	□		
・	□	□		

住宅改修が必要な理由書

(P 2)

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作⇒	②①の具体的な困難な状況(・・なので・・で困っている)を記入してください⇒	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(・・することで・・が改善できる)を記入してください⇒	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 手すりの取付け () () () ()
	入浴		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 段差の解消 () () ()
				☐ 引き戸等への扉の取替え () ()
				☐ 便器の取替え () ()
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) ☐ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他		☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	☐ 滑り防止等のための床材の変更 () ()
				☐ その他 () ()
その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他()	